

平成29年度忘れ物白書

平成30年8月28日

平成29年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）のJR四国の駅や列車内などでの忘れ物は、前年度と比較して件数・現金とも増加しました。

- 1 忘れ物の総件数は、34,348件で前年度と比較して975件（2.9%）増加しました。
また、現金は総額26,949,158円で前年度と比較して106,720円（0.4%）増加しました。
一日あたりにしますと、忘れ物件数は94件、現金については、73,833円が忘れられたこととなります。
※総件数はJR発足以降最多です。（2番目に多いのは、平成27年度の34,305件）。
※現金はJR発足以降8番目に低い額です。

- 2 忘れ物の場所は、列車内が圧倒的に多くなっています。
列車内の件数が、23,189件（67.5%）、駅構内での件数は、10,475件（30.5%）となっています。

- 3 忘れ物の件数が一番多い月は7月で、総件数は3,217件です。
品目別の点数は、「傘」が753点と最も多くなっています。
なお、現金の一番多い月は3月で3,299,950円となっています。

- 4 品物別では、依然として「傘」がトップです。
傘類は、6,948点（19.9%）で以下、装身具類5,545点（15.9%）、書籍・文房具2,788点（8.0%）となっています。なお、現金1件あたりの最高額は列車内での333,465円（前年度最高額は列車内での400,000円）です。

- 5 取扱駅別では、高松駅が件数、金額ともにトップです。

	平成28年度		平成29年度		前年比（%）	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
高松駅	10,617件	9,446,230円	11,049件	8,597,077円	104.1%	91.0%
松山駅	8,132件	5,397,281円	7,923件	4,700,812円	97.4%	87.1%
徳島駅	5,058件	2,687,270円	5,129件	2,684,187円	101.4%	99.9%
高知駅	3,106件	3,428,870円	3,071件	3,618,419円	98.9%	105.5%

- 6 無事本人に返ったもの
忘れ物 34,348件のうち、10,252件（29.8%）です。
現金 26,949,158円のうち、22,274,993円（82.7%）です。

- 7 珍しい忘れ物

- パスポート、馬券、宝くじ、給与明細、包丁セット、一眼レフカメラ、銀行通帳、竹刀、タブレット端末、携帯トイレなどがありました。
- 携帯電話の忘れ物は2,219点で前年度と比較して235点（9.6%）減少しました。

8 JR四国からのお願い

もし、忘れ物をしたときは、

- できるだけ早く最寄りの駅か乗務員にお申し出下さい。
お申し出の際は、「いつ」、「どこで（車内であれば何両目、進行方向に向かってどちら側）」、「どのような（色、柄、形状、中身、数など忘れ物の特徴）」忘れ物をしたのか具体的にお知らせ下さい。
- お申し出の際は、住所、氏名、連絡先等をお知らせ下さい。
- すぐに発見できなくても後日発見される事がありますので、再度お尋ね下さい。
また、列車を降りられて時間が経ってから忘れ物に気が付いた場合は、ご利用になった列車の終着駅にお問い合わせいただくと早期発見できる場合がございます。
- 忘れ物を駅でお預りする期間は最長1週間です。これ以降は警察に引き継ぎます。